

## 歳末だより

○本年もいよ／＼暮近くせまつて参りましたが、皆様、さぞ公私ともお忙しい事でいらつしやいませう。お寒さにお障りもいらつしやいませんか。當方、主事を始め、及川、新庄、菊池、神原、村上、小島、河合何れも元氣に、忙しく過して居ります。

○倉橋主事といへば、この夏の始めころから半年餘、唇のおさばりにてお困りでしたが、この程漸く御全快、いつも膏藥が貼つてあるものと思ひ込んで居る私達は、とれた日も誰一人として氣の付くものなく、主事から御披露があつて、まあ、といった有様宛に角年内に全快なさいましたことを喜んで居ります。御心配下さいました方々へお知らせいたします。

○この新園舎に移りましてから春秋一めぐりをいたしましたので、日一日と住み心地がよくなつて参りました。春は古木、櫻花爛漫のもとに、秋は櫨、蔦、楓の紅葉をたづねて、さすがにひろ／＼としたこの園舎に住む喜びを味ひました。冬の籠り居もあながち捨てたものでもなく、趣きふかい保育も出来ることとございませう。

○この雑誌も、皆様のおかげで、誌敷の月々ふえてゆくのも嬉しい事とございませう。全國大方の幼稚園でおとり下さるといふ有様で、一面保育界の進展も思はれることで、ございませう。

す。もう此の頃では、「幼稚園に子供を入れることの可否」を論ずる時代おくれの人も少なく、識者の間に獎勵なさる方の多くなつたことは、大いに喜ぶと同時に、おろそかには考へられないこととございませう。御一緒に大いに奮發いたしませう。

○この夏から「幼児の教育」編輯者は、菊池フシノ氏にかはりました。どうぞよろしく、延引ながらお知らせいたします。

(よしこ)

○相變りまして、唯今御紹介いたさしましたフシノでございませう。何しろ勝手識らずの者が致します事故、多分ヘマも多からうと存じますが、暫く御寛容の程を。して、ヘマの點、足らない點等、ドン／＼おつしやつて下さいまして、この雑誌を、誰もが自分達の雑誌として満足の行くものと致さうではございませんか、新年號からは、「讀者より」と云ふ欄も設ける豫定でございませうから、そこは肩の凝らないお茶の間のつもりで、四方山のお話から不平不満、さては自慢話の果てまで語り合ひませう。

尚ほ新年號は、濱田廣介、西澤篤敏、寺澤巖男、馬淵冷佑氏等、讀者に目新しい大家方の御執筆を得て居ります。その他の御執筆の方も大いに氣を焔いて下さいましたので、大いに御期待いたして、いと自信して居ります。では御機嫌麗しう御越年の程を。

(ふじの)